

ステップ・アップ



発行日：平成21年11月5日

発行者：下関市富任町6丁目18-18 下関病院 広報委員会

tel:083-258-0338 fax:083-259-8876 Web: <http://www.shimobyou.jp>

November 2009 VOL. 16

下関病院に認知症病棟を設置

私たちは新しい精神科医療に全力で取り組んでいます

理事長 水木 泰

最近の精神科医療の特徴として、うつ病と認知症の著明な増加があります。経済的危機や社会的混乱などの世相を反映して、ストレスの多い時代であることを考えると、うつ病が多くなるのもうなずけます。また、日本人の平均寿命が男性79.29歳、女性86.05歳という高齢化社会である現代は、当然の結果として認知症も多くなります。

うつ病の治療は、救急病棟での薬物療法や精神療法からスタートを切り、さらに回復期病棟、リハビリ病棟、地域診療部（外来）で、濃厚な精神科リハビリテーションや家族療法なども行うという、これまで下関病院で行ってきたチーム医療と治療の流れの構築を踏襲する形で行われています。

問題は認知症の治療です。認知症は記憶力障害だけでなく、幻覚や妄想、易怒性、不眠、徘徊、せん妄などの周辺症状を呈します。このために、家族や近所の人たちとトラブルが生じやすくなります。記憶力障害の治療はなかなか困難ですが、その進行にブレーキをかける薬剤があります。また周辺症状を種々の薬剤で整理することにより、家庭や施設での適応力が格段に上昇します。さらに症状の程度に合わせて生活能力を回復させるために、リハビリテーション、生活機能回復訓練、身体機能回復訓練などが必要になります。これらの専門的な治療を行うために、下関病院では平成21年10月から35床の認知症病棟（呼称：老年期病棟）を設置しました。認知症病棟で周辺症状を整理した後は、家庭や施設に帰られたり、別の施設に移られたりすることになります。患者さん一人に寂しい思いをさせることなく、社会参加をどのような形でされるのかをご家族と一緒に考えます。必ず社会復帰をしていただくという意気込みで、35床という小さな認知症病棟を設置しました。

これからも下関病院では、精神障害者の皆様およびご家族の皆様と我々医療スタッフとが丸となって、新しい精神科医療に取り組んでいきたいと思っています。今後とも皆様方のご指導とご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。



医療機能評価の更新を終えて

事務部長 藤田 暁士

5年の月日が経つのは早いもので、平成16年に日本医療機能評価機構から受けた認定証の更新時期がやってきました。

3月22日から3日間、機構から派遣された4名のサーベイヤー（評価者）により、書類審査、合同面接、そして専門領域別の面接と各部署への訪問審査など過密なスケジュールで厳しい審査が行われました。その後、若干の補充的な審査を7月31日に受け、9月4日付で認定証を無事いただくことができました。

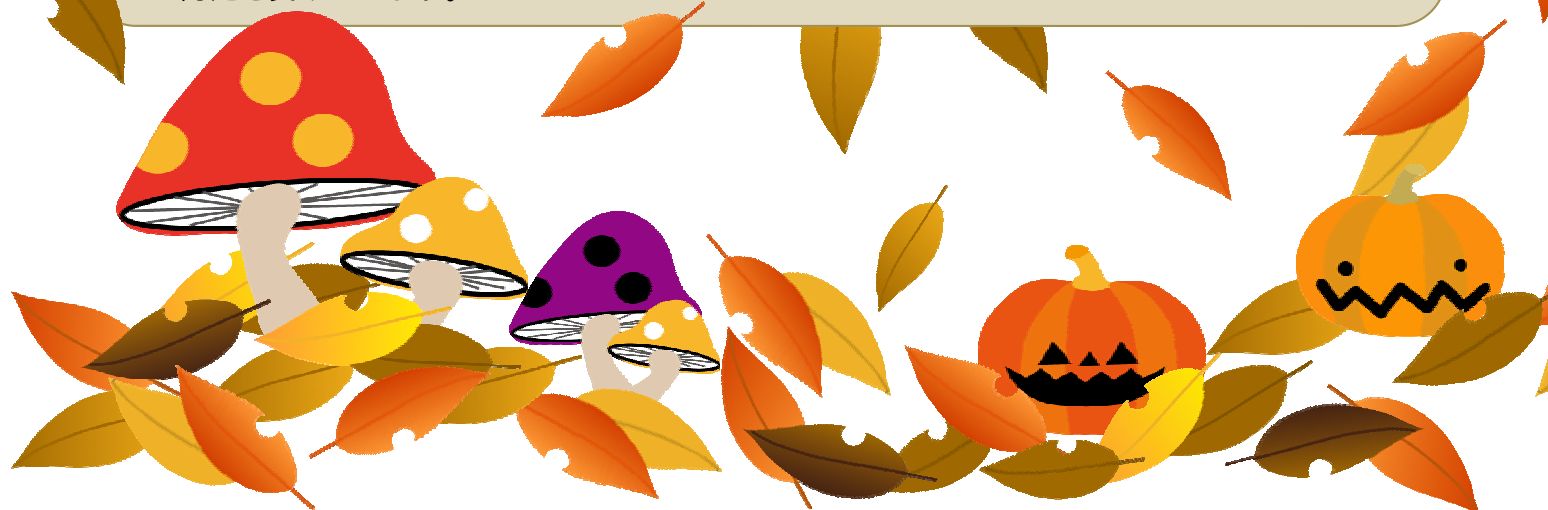
前回の受審に比べると評価項目もかなり変わっていましたが、医療の質の向上と患者様へのサービス改善という審査の基準は普遍であり、職員全員で取り組むこと自体が非常に有意義であったと思われます。

来年1月には荻病院が初めて受審をします。当院もできる限り応援したいと思いますが、同時に受審時のことを忘れず、医療機能評価に対応する業務を引き続き実行していかなければならないと考えています。



医療機能評価とは、

病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価することです。我が国においては、財団法人日本医療機能評価機構が第三者評価を行う機関として設立され、1997年より“病院機能評価事業”を実施するとともに、その結果明らかとなった問題点の改善を支援するための活動を行っています。平成21年10月2日現在、2567病院が日本医療機能評価機構の認定を受けています。





新任の先生ご紹介

雨田 光代 (あめだ みつよ)

平成21年6月より下関病院でお世話になっております雨田光代と申します。宮崎県出身で地元の大学卒業後、主に北九州で内科医として修練してきました。今回、もともと興味があった精神科に思い切って転科することにしました。精神科は初心者なのでいろいろ教えてください。下関は故司馬遼太郎お気に入りの地というだけありとても気に入っています。冬はまたふぐが楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。



就任あいさつ

地域診療部長 城尾 淑子

この度9月1日付けで急性期病棟から地域診療部に異動となり、その上地域診療部長という大きな役割をいただき、心もとないまま1ヶ月が過ぎました。

振り返れば14年間入院医療に携わっていました。その中でさまざまな患者様と関わり、色々な問題解決に取り組み、退院支援を行ってきました。これからは、地域で生活をしている患者様の、医療と福祉を両面でサポートしていかなければなりません。地域診療部には外来診療・訪問看護・デイケア・デナイトケア・相談業務などがあります。不安定な患者様の対応にACT活動として当院では、精神科医師、看護師、精神保健福祉士でチームを構成し、原則は「24時間・週7日」を取り入れています。何はともあれ部長としてスタートをきったからには、多職種スタッフと一緒に連携を取りながら、チーム医療に取り組み、地域診療部の独立に向けて全力を尽くしたいと思います。



障害者グループホーム 体制変更のお知らせ

11月1日より、以下のとおり変更いたします。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

桜荘……新設

楠荘……定員変更(4名→5名)・住所変更

松風荘…定員変更(8名→10名)



行事報告

今年の夏祭りは、8月21日(金)、天候に恵まれグラウンドで開催できました。準備では、あまりの暑さにバテ気味でしたが、日が落ちる頃には涼しくなり、多くの入院・外来の患者様、ご家族や地域の方にもたくさんご来場いただき、誠にありがとうございました。

ステージでは、患者様による合唱や弾き語り、託児所の子もたちによる出し物があり、最後は、恒例となった下関馬関連平家踊保存会の皆様による平家太鼓と三味線・唄で、多くの方が下関伝統の平家踊りを舞い、盆踊りを満喫できました。これからも、皆様のご協力のもと、地域に開かれた夏祭りをしていきたいと思いをします。

ご協賛いただきました

栄食メディックス株式会社様、株式会社大林組様、株式会社タカラ様、株式会社岩多屋様、有限会社ライフクリーニング様、株式会社ハウズドクター山口様、西日本医療サービス株式会社様、有限会社華企画様

物品を貸していただきました

安岡小学校様、コカ・コーラウエスト株式会社様

ボランティアの

下関馬関連平家踊保存会様、

下関リハビリテーション学院様、

北九州リハビリテーション学院様

改めて御礼申し上げます。

準備や片付けに携わった職員の皆さんも本当に暑い中、お疲れ様でした。



ふれあい フェスティバル

日時：11月14日(土) 10:20~15:00

場所：安岡公民館(国道191号線沿い、安岡郵便局前)

内容：10:30 みそら保育園さん鼓笛隊演奏

13:00 下関工業高校吹奏楽部さんによる演奏

14:00 講演「子どものころについて思うこと」

臨床心理士・スクールカウンセラー 杉本正志

バザー、フリーマーケット、こころの相談コーナー、作品展示・販売など

※駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用になるか、下関病院の駐車場をご利用下さい。隣のスーパードラッグコスモスさんの駐車場にはお停めにならないよう、お願い申し上げます。

会場までは、JR安岡駅より徒歩3分、バス停安岡駅前すぐ、下関病院より徒歩15分です。

編集後記



朝夕の寒暖の差が激しい近頃、皆さん体調はいかがでしょう？

振り返ると、今号は当院で起こった様々な「変化」をお伝えする内容となったように思います。季節の移ろいを楽しむように、変化を柔軟に受け止められる心の余裕を持って、日々を過ごしていきたいですね。